

『まなびあい』第11号をお読みになった方へ

『まなびあい』第11号 研究実践奨励賞推薦のお願い

コミュニティ福祉学会事務局

コミュニティ福祉学会では、『まなびあい』掲載論稿のうち、優れた論稿や価値ある実践活動に「研究実践奨励賞」を設け、表彰致します。受賞作選考は学会内に設置される選考委員会において行いますが、読者の方々のご意見を取り入れるため、推薦書を募集しております。今回お配りしました『まなびあい』第11号を読んで応援したい、多くの人に読んでもらいたいと思った論稿を一編選び、その理由とともに、「まなびあい第11号 研究実践奨励賞推薦書」(次頁)にご記入の上、立教大学コミュニティ福祉学会事務局にメールまたはFaxでご提出してください。推薦書はコミュニティ福祉学部HP (<http://cchs.rikkyo.ac.jp/>) にも掲載しています。今回の審査対象原稿は以下9編です。皆様のご意見を広く反映致したく、ご協力をお願い致します。

(論稿番号)

- | | |
|---------|---|
| ① 木下 一雄 | 農福連携から見てきた精神障害者の就労支援の可能性—北海道十勝芽室町の挑戦— |
| ② 奇二 正彦 | ミレニアム生態系評価におけるスピリチュアリティ
Spirituality in the Millennium Ecosystem Assessment. |
| ③ 槇府 憲太 | ケースワーカーの8年間を振り返る |
| ④ 鶴田 真菜 | 現役学生が感じた、コミュニティ福祉学部の「歩き方」 |
| ⑤ 大木 彩 | 「人はどうしたら健康で続けられるのか?」を求めて
～日本一人口が少ない町での実践～ |
| ⑥ 松居 佑奈 | 編入学をして感じたこと |
| ⑦ 大塚 朋子 | 「困った!」ではなく「やってみたい」を大切に
～まちの担い手が育つコミュニティカフェを目指して～ |
| ⑧ 大島 康宏 | 学生団体におけるボランティアマネジメントを考える |
| ⑨ 福島 啓太 | これからもずっと、「石、転がっとならええやん。」 |

提出先：立教大学コミュニティ福祉学会事務局 cchs@rikkyo.ac.jp Tel&Fax:048-471-7308
〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉研究所内(5号館3階)

提出期限：2019年5月7日(火)